

市政執行方針

現在、日本国内における人口減少対策が最重要課題とされ、本市におきましても、平成28年度が「赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略」の事実上スタートの年となりました。

各種施策に積極的に取り組んできた結果、人口減少率は前年の3.17%から2.38%に緩和され、出生者数は、前年の31名から47名に増加となるなど、少しずつではあります。ですが成果につながっています。これも市民の皆様、企業や団体の皆様のご協力によるものであります。さらなる成果を上げるためにも引き続き行政として市民の声を真摯に受け止め、役割分担や相互協力、行政支援などのあり方を協議し、オール赤平で市民力・産業力・行政力を発揮できるよう、

全力を挙げて取り組んでいきます。

昨年は台風による被害が発生しました。本年度も被害箇所の復旧対応に当たるほか、災害を教訓として、地域間、地域と行政間の連携強化について協議を進め、安心・安全な地域社会づくりを推進します。

こうした取り組みのほか、平成30年度に仮称札幌赤平会を設立することを目標に準備作業を進めます。また、本年度から企業版ふるさと納税を実施できるよう地元企業の本社と協議をさせていただくなど、市外との連携もキーワードの一つとして応援体制の確立に努めます。さらに、北海道や空知管内、中空知管内の自治体間における連携事業も推進していきます。

根室本線沿線の4市2町で構成されている根室本線対策協議会においては、鉄路維持を前提とした協議を継続していきます。

以上の事業をはじめ、様々な事業を展開するには財源確保が重要となります。引き続き市長自らが国や道、企業、関係機関などを訪問し、本市の実情を説明して、支援や協力をお願いしていきます。

将来のまちを展望し持続性のあるまちを構築することが、未来を担う子供たちの明日を導きます。

市民誰もが住み続けたい。住んでいて良かったと実感していただけですが、移住・定住につながります。そんな思いを抱けるまちづくりを目指していきます。

8頁の「教育行政執行方針」と重複する、しごと・ひと・まち創生総合戦略の教育関連施策と、赤平市総合計画の「生きる力を育む生涯学習社会」に関する方針については掲載を省略します。

「しごと・ひと・まち創生 総合戦略」関係

地元産業の強みを活かした雇用確保と地域産業の振興

求人・求職の市町連携PR 中空知定住自立圏構想に基づき、なかそらち会議において、管内の企業紹介の冊子や動画、ホームページなどで情報発信を行うなど、地元定着・就業促進事業を市町連携で継続します。

また、近隣の高校に働きかけ、就職希望の高校生を対象に市内で合同企業説明会を実施します。

市内企業等就職者への助成 卒者及び市外から市内企業へ新規就労して市内に居住された方で、1年以上就労された方を対象に、就職祝い金として「まごころ商品券」を交付します。

学生地域定着推進 江別市内4大学との「学生地域定着推進広域連携協議会事業」として、市内企業で学生インターシップ事業を実施します。

6次産業化 本年度から新たな地域おこし協力隊により6次産業化に向けた知識などを深め、サポート体制を強化し、地元特産品の推進を目指します。

新製品開発研究 地元農産物特産品化業務委託を継続し、ノウハウや専門性を兼ね備えた事業者の外部目線で、新たな地元農



市政執行方針を述べる
菊島 好孝 市長

産物の加工品をつくり、地域特産品のブランド化を図ります。

若者が安心して子どもを生み育てられる地域づくり

子育て支援住宅の充実 学校区を中心とした地域で、子育てに適した広さや設備などを備えた住宅整備を目指し、吉野団地の外構・造成設計、既存住宅の一部を除却します。

持ち家住宅 建設促進や中古住宅の活用により、住環境の向上と移住定住人口の確保及び地域経済の活性化を図ることを目的として、「持ち家住宅建設等助成事業」と「持ち家住宅土地購入助成事業」を継続します。

民間賃貸住宅建設、リフォーム、土地購入・家賃助成 若年層世帯などの移住定住促進や地域経済の活性化を目的として、「民間賃貸住宅建設費助成事業」、「民間賃貸住宅リフォーム助成事業」、「民間賃貸住宅土地購入助成事業」、「民間賃貸住宅家賃助成事業」を継続します。

子育て支援条例等の制定 平成28年度に赤平市子ども・子育て会議内で、子育て支援条例策定専門部会を設けており、家族の

日」の制定も含め、平成30年4月からの条例施行を目指して協議します。

高校生以下の医療費無料化 子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもが安心して医療を受けられるよう継続します。

高校通学費助成 就学に要する保護者の経済的負担を軽減するため、「高等学校等通学費等支援制度」を継続します。

ひとり親世帯への助成 ひとり親家庭に対する入学支度金、民間賃貸住宅家賃の一部を「まごころ商品券」として交付しており、ひとり親家庭の経済的負担を軽減するため継続します。

保育料の軽減拡充 国の基準の50%軽減を実施していますが、本年度から、さらに就学前の乳幼児の第2子目以降の保育料を無料化します。

子育て支援施策PR 動画や市ホームページなどを活用するほか、本年度は市内に看板を設置します。

高齢者が生きがいを持って安心して生活できるプラチナ社会の形成

介護サービス施設専門職の養成 本年度は社会福祉協議会と連携

し、「介護職員初任者研修」を開催して新規就労者の確保に努めます。

お試し暮らし事業の拡充 市街地における空き店舗や空き家、自然景観に恵まれた空き家を調査し、お試し暮らし住宅の軒数拡大について検討します。



お試し暮らし事業の充実を図ります(お試し住宅の台所)

地域包括ケアシステムの構築

「在宅医療と介護の連携」「認知症予防施策の推進」「生活支援と介護予防サービスの充実・強化」に引き続き取り組みとともに、介護事業者やNPO、エリアサポーターなどのボランティアと協力しながら、地域包括ケアシステムの構築を進めます。

健康づくり教室の開催 町内会や老人クラブなどの地域組織に対し、保健師などによる健康づくり教室を引き続き開催します。

地域医療の確保 医師・看護師・医療技術者などの必要な人材を安定的に確保し、「新公立病院改

革プラン」に基づき、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりを進めます。

恵まれた自然環境と地域資源を活かした個性と魅力あるまちづくり

炭鉱遺産公園整備

本年度はあかびら市民まちづくり提案事業に基づく市民参加によるズリ山展望広場の植樹と、炭鉱遺産公園ガイダンス施設を整備します。

炭鉱遺産の世界遺産登録等の研究 北海道と自治体間との連携によって日本遺産登録を目指すほか、本年度は国などの文化財登録に向けた検討委員会を設置し、今後の取り組み方法などを検討します。

絶景マップ作成 平成28年度に実施したフォトコンテストの写真素材としてマップを作成し、まちの魅力を発信します。



フォトコンテストの写真でまちの魅力を発信します(入賞作品)

宿泊施設整備 本年度は専門機関と連携しながら、本市におけるお客様の実態を調査します。

将来的な宿泊需要を推計し、適切な規模や客室機能、付帯施設などを整理し、宿泊施設の整備手法や誘致の素材とします。

ポケットパーク整備 平成28年度の地元商店街のアンケート調査結果をもとに、場所や規模、整備の目的について地元商店街と協議します。

AKABIRAベールによる地元PR 本年度は商店街などの

情報発信コーナーを設置し、市内への観光客流入を図ります。入込状況や効果について把握し、施設内スペースのリニューアルを図りながら、農業者が自主的に販売に関わる運営体制を確立します。

赤平映像PR 赤平市移住プロモーション動画を活用し、首都圏や都市部で放映するほか、電車内広告を作成し、首都圏で本市の情報を発信します。

まちづくり活動支援 「あかびら市民まちづくり提案事業」の中から市民団体に採択された3事業を実施します。また、「まちづくり活動推進事業補助金」「まちづくり・人づくり事業補助金」も継続します。

「第5次 赤平市総合計画」関係

すこやかで安心して
暮らせる社会を
つくりましょう

保健事業 健康相談、健康教育、講演会、イベントなどを通じ、運動習慣や栄養、うつ自殺防止対策などに取り組みます。

また、喫煙対策と受動喫煙防止対策に引き続き取り組みます。

生活習慣病の予防 生活習慣を改善し、生活習慣病の発症予防や重症化予防が図れるよう、保健指導を充実します。

また、各種がん検診の受診率向上に努め、感染症予防についても、知識の普及啓発に努めるとともに、各種予防ワクチンの接種推進と接種費用の助成を継続します。

母子保健事業 訪問や相談、乳幼児の各種健診により、発育状況のチェックと子育てに関する相談を行うなど、子育て支援を継続します。

また、一般不妊治療費または特定不妊治療費の一部を助成します。

5歳児健康相談 発達上、特に支援が必要な子どもを早期に把握し、連携を図りながら発達支援を行える環境を整備します。

介護保険事業 「まる元運動教室」「物忘れスクリーニング」を開催し、認知症予防教室などで適切な予防プログラムを提供しながら専門医療機関への受診勧奨を行います。また、「認知症サポーター養成講座」を開催し、介護予防と認知症対策に努めます。

さらに、本年度から訪問介護・通所介護が市町村主体の地域支援事業に移行するため、生活支援コーディネーターとともにエリサポーターや地域の方々と協力しながら、高齢者支援を進めていきます。

地域医療体制の確保 あかびら市立病院において、外来から入院、在宅復帰まで一貫して地域住民が安心して医療が受けられるよう、地域の基幹病院としての役割を担っていきます。また、救急医療についても、市内唯一の救急指定病院として、医療体制の維持に努めます。さらに、北海道地域医療構想により、中空空知医療圏における回復期病床の不足解消に向けて、病床機能の一部転換を検討します。

国民健康保険事業 平成30年度

には都道府県が国保の財政運営責任者となるため、北海道が中心的な役割を担うこととなります。道並びに北海道国民健康保険連合会と連携を図り、円滑な制度移行に向け作業を進めます。

高齢者福祉 福祉関係団体やボランティア組織などの協力を得ながら、高齢者を支える体制づくりを推進します。また、高齢者世帯等除雪費助成事業などを継続し、高齢者福祉施設とも連携を図りながら支援を行います。

障がい者福祉 生活介護や就労継続支援などの各種障がい福祉サービスを実施し、生活支援を行います。また、平成28年度に実施した「手話奉仕員養成入門講座」に続き、本年度は「手話奉仕員養成基礎講座」を開催します。

保育所 園庭遊具の点検補修を実施するなど安全な保育環境に努めます。また、引き続き保育士の確保に努めます。

子育て支援センター 子ども同士の間わりや保護者同士の交流、育児相談など、気軽に話ができる場づくりを進めます。

また、障がいのある子どもや発達支援が必要な子どもに対し、専門機関と連携を図りながら、個別相談や適切な支援の実施に努めます。

ひとり親家庭への支援 母子家庭等高等職業訓練促進給付金事業などを継続します。また、配偶者などからの暴力被害を受けた女性や子どもの生活支援を行います。

地域防災 本年度も道路や河川の被害箇所の復旧対応にあたります。また、災害を教訓として、地域間、地域と行政間の連携強化について協議を進めます。

防災マップを更新するほか、防災備蓄品・災害時用小型発電機等を計画的に整備します。

さらに、災害対策本部となる市庁舎について、本年度は、耐震化工事実施設計を実施します。

消費者対策 消費者にとって役立つ情報を提供し、消費生活相談室などで相談も受けながら、消費者保護に努めます。

交通安全対策 各町内会や関係機関と連携して交通安全運動を

行います。また、障がいのある子どもや発達支援が必要な子どもに対し、専門機関と連携を図りながら、個別相談や適切な支援の実施に努めます。

交通安全運動実施中

交通事故の根絶に努めます

大地に根ざした
たくましい産業を
つくりましょう

産業振興 新たな企業の受け入れも含めて、設備投資や雇用拡大を図る企業に対して企業振興促進条例に基づく支援を継続します。また、「産業振興人財育成事業」に助成し、人材育成を図ります。さらに、「チャレンジ・アレシ産業振興奨励金」「産業フェスティバル」を継続します。



交通安全運動実施中

行います。交通事故根絶に努め、交通事故死ゼロ2千日を目標に掲げるとともに、飲酒運転根絶に努めます。

大地に根ざした
たくましい産業を
つくりましょう

産業振興 新たな企業の受け入れも含めて、設備投資や雇用拡大を図る企業に対して企業振興促進条例に基づく支援を継続します。また、「産業振興人財育成事業」に助成し、人材育成を図ります。さらに、「チャレンジ・アレシ産業振興奨励金」「産業フェスティバル」を継続します。

特産品の推進 「赤平市特産品推進協議会」においてふるさと小包セットの販売を継続します。また、がんがん鍋やホットレッグなどのPRや販路拡大に努めます。さらに、農産物加工品の開発に取り組みます。

商業 後継者問題も含め、商店街振興対策協議会を中心に協議を行い、中心市街地の活性化に努めます。また、チャレンジショップを継続し、地域おこし協力隊が常駐して商店街の賑わいを創出します。さらに、商店街の環境美化についても地元商店と協議

します。

農業 本年度は、たきかわ農業協同組合と連携しながら農業基盤整備工事を行います。また、「中山間地域等直接支払事業交付金制度」「多面的機能支払制度」「環境保全型農業直接支払交付金」を活用し、支援します。

さらにJ R札幌駅内のどさんこプラザなどで、地元農産物や加工品を市内外にPRし、販売します。

林業 「森林環境保全整備事業」や「未来につなぐ森づくり推進事業」を行い、森林整備を推進します。

観光 エルム高原施設で手ぶらキャンプや謎解きゲーム、冬の雪遊びイベントなどを開催し、散策路の活用や彫刻公園S A K I Y A M A のPRを行います。

「らんフェスタ赤平」「あかびら火まつり」については、伝統を継承し、魅力ある個性豊かなイベントの充実に努めます。「市民花火大会」は、本年度も5千発の花火を打ち上げていただくため、募金の協力を働きかけます。さらに、学生地域定着推進広域連携協議会を通じて火まつりへの学生の参加者を募り、イベントの盛り上がりとともに本市の魅力を実感していただきます。



学生の火まつりに参加を募ります

ゆとりと潤いのある 快適な生活を 支えましょう

公的住宅 福栄地区の改良住宅

建替事業については、平成28年度からの繰越明許予算として、11号棟1棟8戸の建設、吉野団地建替事業については、平成31年度の建設に向けて外構・造成設計と吉野第一団地3棟8戸の除却を実施します。また、長寿命化改善事業については、平成28年度からの繰越明許予算として、緑ヶ丘第一団地の屋根改善のほか、青葉団地B棟の外壁及び屋上防水を行います。

移住・定住促進事業 「住みか

エール事業」「赤平おためし暮らし」を継続するほか、北海道移住促進協議会やなかそら会議などを通じて、本市の各種支援

制度や宅地分譲などの情報を道内外へPRします。

市道 文京学園通、西文1条通の改良舗装工事や右岸通の舗装改修工事、錦町1条通排水整備工事、北文本通のロードヒーティング改良工事を実施します。

橋りょう 新成大橋ほか4橋の補修工事や、平成30年度の補修に向けた大谷沢2号橋と左大谷沢5号橋の実施設計を行います。

公園 翠光苑ほか3公園の遊具・休憩・管理施設の整備のほか、コミュニティ広場のトイレ改修を実施します。

上水道 前年の台風災害によって多くの世帯で断水したことを教訓とし、取水場に予備の水中ポンプを配置するほか、配水管などの施設の計画的な整備を進めます。



断水を教訓として取水場に予備のポンプを配置します

環境衛生 「ごみボックス補助制度」を創設し、老朽化したごみ

ボックスの更新を促進します。

また、「飲用水等確保事業補助制度」を創設し、水道が引かれていない地域などの井戸のポンプや除鉄機などの設置及び取替に要する費用の助成を行います。

人と人が語り合い 行動できる地域づくりを 進めましょう

赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略 施策の早期実現に努めるとともに、総合戦略会議並びにみらい部会にてPDCAサイクルに基づく施策の効果検証を行っていただき、人口減少対策に取り組みます。

市民参加型のまちづくり 「まちづくり講演会」や「あかびら市民まちづくり提案事業」を継続し、まちの活性化やまちづくりへの参加意欲を高めます。

情報共有 「定期的な住民懇談会」「こんばんは市長室」「市長がおじゃまします」を継続します。また、広報あかびらや市ホームページなどを活用するほか、重要案件に関しては、市民説明会やチラシを作成するなど、市民周知に努めます。

地域コミュニティ活動 地域のコミュニティ活動を維持するた

め、「地域コミュニティ活動推進事業補助金」を増額するほか、「町内会街路防犯灯維持管理事業交付金」などを継続します。また、引き続き赤平市町内会連合会の活動を支援します。

赤平市ふるさとガンバレ応援寄附金(ふるさと納税) 市内関係事業者のご協力によつて全国から多額の寄附金をいただいています。本年度も新たな返礼品を増やすよう努めるほか、積極的に都市部でのPRを実施します。また、総合戦略施策の実施に向けた企業版ふるさと納税について、関係事業者と協議します。

仮称札幌赤平会 札幌市を中心に本市と縁のある方が大勢居住されています。本年度は市民協力をお願いし、本会設立に向けた参加者名簿を作成します。

行財政改革 各種事業推進にあたっては国・道などの効果的な財源確保に努めるとともに、歳出においては効率・効果的な予算執行を図ります。また、財政状況を見極めながら公共施設等総合管理計画に基づく事業を推進します。

市政執行方針の全文につきましては、市のホームページをご覧ください。